

# 目次

緒言

例言

執筆者及び分担

## 第一編 自然的環境

### 第一章 地形と地質

#### 第一節 山地の地形

1 鳴沢川流域の地形(三) 2 黒沢川流域の地形(四) イ 北黒沢川

### 第三章 生物

#### 第一節 動物

1 黒沢山周縁の哺乳動物(三) イツキノワグマ(三毛) ロタヌキ  
ハキヅネ ニテン ホイタチ ヘアナグマ トオコジョ

チモモンガ・ムササビ リニホンザル スイノシシルカモシ  
カオノウサギ ワ山ネコ 2 三郷村に分布する鱗翅目(蝶)

(四) イヒメギフチヨウ(四毛) ロジャコウアゲハ(四毛) ハモン

キアゲハ ニツマグロキチヨウ ホヤマキチヨウ ヘオオムラ

サキトコヒオドシ チアサギマダラ リオオルリシジミ ヌ

ウスイロオナガシジミル ウラクロシジミ オムラサキシジ  
ミワヒメヒカゲカ アオバセセリ 3 三郷村に分布する蜻

蛉目(トンボ)と双翅目(アブ)(五毛) 1 トンボ(五毛) 2 アブ(五毛)

#### 第二節 植物

1 村内の喬木(五毛) イクワ(五毛) ロイチヨウ・クロマツ・カヤ

ハアカマツ ニシダレヒガン ホノダフジ ヘハリギリ  
2 住吉神社の叢林(五毛) 3 住吉神社叢林の植物目録(五毛)

### 第二章 気候

一 安雲平の気候のあらまし(二) 二 月月の気候(三)

三 較差の厳しい気温(八) 四 乾いた空氣(三) 五

一一

一二

五六

毛

毛

毛

#### 第二節 山地の地質

(四) ロ黒沢の滝 3 尾根の地形(六)

1 鳴沢川流域の地質(八) 2 北黒沢川流域の地質(九) 3 断層

(四) 4 室山(三) 5 堆積岩(三) イ粘板岩(三) ロ硬砂

岩 ハチャートニ 火山岩 ホローム層

#### 第三節 平地の地形と地質

1 黒沢川扇状地(二) 2 梓川の河岸段丘面(二)

3 三郷村のおいたち(二) 4 松本平の形成(二)

八

#### 第四節 三郷村のおいたち

1 三郷村の基盤岩(二) 2 三郷村の古生層山地の誕生(二) 3 フオツサ・マグナの形成(二) 4 松本平の形成(二)

一

#### 第一節 植物

1 村内の喬木(五毛) イクワ(五毛) ロイチヨウ・クロマツ・カヤ

ハアカマツ ニシダレヒガン ホノダフジ ヘハリギリ  
2 住吉神社の叢林(五毛) 3 住吉神社叢林の植物目録(五毛)

五毛

## 第二編 歴史

### 第一章 先史時代

- 一 旧石器時代(三) 二 縄文時代(三) 1 草創期・早期  
(六) 2 前期(六) 3 中期(六) 南松原遺跡の概要(六) (1)  
位置と環境(六) (2) 発見された遺構(七) 1号住居址(七) 2  
号住居址と特殊遺構 3号住居址 4号住居址 5号住居址 第  
6号住居址 第2号特殊遺構 7号~14号住居址 (3) 出土遺物  
(七) ① 土器(七) ② 石器 ③ その他 (4)まとめ 4 後期・  
晩期(八) 5 三郷村の縄文時代の遺跡と遺物(八) 三 弥生  
時代(八) 1 弥生町代の灘要(八) 2 南安曇郡の弥生遺跡(八)  
4 (1) 町田遺跡(九) (2) 等々力遺跡 (3) 窪窪下遺跡 (4) 柏原  
遺跡 3 三郷村の弥生遺跡(九) (1) 黒沢川右岸遺跡(九) (2) 堂  
原遺跡 (3) 堂屋敷遺跡 四 古墳時代及びそれ以降(九)  
1 古墳時代の概要(九) 2 南安曇郡の古墳(九) 3 三郷村の  
古墳(九) (1) 北小倉第一号古墳(九) (2) 北小倉第二号古墳  
(3) 净心寺付近古墳 (4) 富士塚古墳 (5) アルプス学園前古墳  
(6) 平福寺付近古墳 4 古墳時代の生活遺跡(九) 山の越遺跡  
(九) 5 考古学上からみた奈良平安時代の三郷村(九) (1) 堀  
尻遺跡(九) (2) 中沢遺跡 (3) 室山南遺跡 (4) 若宮遺跡 (5) 堂  
原遺跡 (6) 上総屋敷遺跡 (7) 栗の木下遺跡 (8) 三柱神社東遺  
跡 (9) 三角原遺跡 (10) 丁田遺跡 (11) 中村遺跡 (12) 上手遺跡  
(13) 小路遺跡 (14) 道下遺跡

### 第二章 歴史時代

- 第一節 古代・中世  
一 古代の村と牧(二) 1 安曇郡と郷(二) 2 古幡牧(二)

- 五 二 住吉庄(二) 1 成立(二) 2 開発領主(二) 3  
領域(二) 4 伝領(二) 5 守護小笠原氏の領有(二) 6 庄  
園市場(三) 7 神社(三) イ 住吉神社(三) ロ 熊野神社(一  
毛) ハ 住吉庄内西牧郷内の神社の分布(三) 8 寺院(三)  
イ 平福寺(三) フ ① 聖觀音菩薩像 ② 昆沙門天像 ③ 不動  
明王像(三) 法輪寺(三) 日光寺 泉光寺 ロ 長徳寺(三)

- ハ 横沢の薬師堂 ニ 善導寺 9 その他の堂社(三) 三  
武士とその興亡(三) 1 西牧氏(三) イ 出自(三) ロ 謙  
訪上社への奉仕(三) ハ 小笠原氏との関係(三) ニ 西牧氏の  
滅亡(三) フ 長尾城跡と上総屋敷(三) 2 二木氏(三) イ  
出自について(三) ロ 野々宮合戦と二木氏の動向(三) ハ 小  
笠原氏への忠勤(三) ニ 二木豊後土佐・草間肥前屋敷(四)  
付二木氏居館址出土の古錢(四) 3 小笠原氏(五) 付小倉城  
跡(三) 4 及木氏(五) 5 その他の氏(二)  
第二節 近世  
一 政治と社会(二) 1 組と村(二) イ 組役人(二) ロ  
村役人(二) ハ 五人組(二) ニ 村の住民(二) 2 村政と戸  
口(二) イ 宗門人別改(二) ロ 戸口の推移(二) ハ 村定(一  
充) ニ 御触書と御用金(二) ホ 縁組(二) ハ 奉公人(二)  
3 交通の発達(二) イ 安曇平の主要道路(二) (1) 千国道(二  
四) (2) 飛騨道(野麦街道)(二) (3) 糸魚川街道(二) (4) 飛州新  
道(二) (5) 村の道路(二) 松本道(二) 広海道 山道 立田  
道その他 ロ 庶民の旅行(二) (1) 順礼の旅(二) (2) 農民の  
旅(二) 4 災害と騒動(二) イ 自然災害(二) ロ 凶作・飢  
饉(二) 寛永の飢饉(二) 延宝の飢饉 享保の飢饉 天明の飢  
饉(二) 天保の飢饉 付貞享騒動(二) (1) 民間の記録と加助(二)

(2) 事件の発端(二五) (3) 農民の強訴(二四) (4) 主謀者の処刑(一七)

(5) しまつ(二九) 騒動の後始末(五〇) 善兵衛女房の出産

善兵衛女房の余生 加助の墓 加助らの供養塔 5 寺院と神社

(五三) イ寺院の役割(二九) ロ 村の寺院(二三) (1) 長尾山平福寺(二九) (2) 二木山長徳寺 (3) 興國山真光寺 (4) 満珠山竜峰寺

(五) 見石山歓喜寺 (6) 仏花山法國寺 (7) 真綠山生善寺 (8) 修南山善導寺 (9) 一仏山淨心寺 (10) 金峰山泉光寺 (11) 無量山瑠璃光寺 (12) 戸隠山善福寺 ハ 神社の特色と役割(二九)

ニ村内の神社(二〇〇) (1) 住吉神社(二〇〇) (2) 熊野神社 (3) 諏訪神社 (4)

諏訪三柱神社 (5) 伍社宮 (6) 神明社 (7) 津島社 (8) 貞享義民社 (9) 諏訪神社 (10) 八幡社 (11) 諏訪神社 (12) 白山神社

二 産業と経済(二〇七) 1 檢地(二〇七) イ 天正・慶長検地(二〇七)

口 寛永検地(二〇元) ハ 慶安検地(二二) ニ 田畠入下げ検地(二四)

ホ 慶安・寛文・延宝年代の百姓土地所持状況(三七) ヘ 檢地帳から見た田畠の分布状況(三五) ト 天明二年二木村の再検地(三

九) 2 租税(三三) イ 税の種類(三三) ロ 年貢諸役金の収納(三

六) ハ 屋丁役・鍵役(二四) ニ 極難の家と救恤(二三) 3 農業(二

四) イ 耕地の増加状況(二四) (1) 小倉御林新開のための用水堰掘立願(二四) (2) 上野原新堰掘立願 (3) 小倉御林新開願書 ロ

一軒の所持高の変遷(二五) ハ 農業労働力の確保(二五) ニ 一筆の水田面積と農耕用具(二五) ホ 稲の品種畑の作物(二五) ヘ 田方の石灰(二五) 4 入会と山論(二五) イ 入会(二五) ロ 小倉

お林(二五) ハ 山論(二三) ハ 神明原争論(二三) ハ 長尾上の原入会争論(二三) (3) 小倉北山一件(二三) 四 鳥羽・中萱原境争論(二六)

△ 5 村の生業(二七) イ 村の店商(二七) ロ 酒造業(二六) ハ

紺屋業(二六) ニ 水車業(二九) ホ 無尽(二九) ヘ 養蚕(蚕種)

業(二七) 三 村史挿話(二七) 1 播隆上人の消息(二七) 2 御

情竿と草餅祭(二七) 3 殿様のひよ鳥見物(二七) 4 お祭りの喧嘩(二七) 5 一日市場の大火灾(二七)

### 第三節 村落の成立

一 温村・明盛村の村落の成立(二九) 1 三郷村の耕土分布

(二九) 2 黒沢川による原始開発(二九) イ 長尾・二木の開発(二九)

三 ロ 榆の開発(二九) ハ 久木の開発(二九) ニ 西中萱の開発(二九) ホ 西及木の開発(二九) ヘ 住吉神社と黒沢(二九) 3 原始開発からみた黒沢・中房川・烏川三扇状地の対比(二九) 4 雨乞行事よりみた杵形神社・平福寺(二七) 5 横沢堰による開発(二八)

6 庄野堰による開発(二九) イ 計画開発の範囲(二九) ロ 二木開発の経緯(二九) ハ 水利権からみた二木村の開発(二九) ニ 一

日市場の開発(二九) ホ 七日市場の開発(二九) ヘ 庄野堰と榆(二九) ハ ト 二木の条里的遺構(二九) チ 庄野堰と及木(二九) リ 庄野堰と中萱(二九) ヌ 庄野堰と真々部(二九) 7 中萱堰と中萱の開発(二九) 8 及木堰と及木の開発(二九) 9 成相堰(真鳥羽堰)

と下中萱の開発(二九) 10 温堰による開発(二九) イ 開鑿の経緯(二九) ロ 男女沢と大妻・横沢・水室 ハ 大荒田堰と北大妻 ニ

温堰と長尾・二木・榆・久木 ホ 長尾堰と長尾・二木 ヘ 荒堰と住吉・野沢 ト 小田多井堰と小田多井 11 藤の木・二木・久木の呼称(二九) 12 用水争論(二九) 一二 小倉の成立(二九) 1

小倉という地名(二九) 2 本村(二九) 西牧氏の進出(二九) 小倉城 里屋敷 社寺 あづま社 3 馬口(二七) 中世以前(二七) 馬口の地名 水田 社寺 4 大室(二九) 5 室山(二九)

第四節 村落の地名

一 小倉(二九) 二 野沢(二九) 三 上長尾(二九)

四 下長尾(二九) 五 榆(二九) 六 住吉(二九) 七

七日市場(二九) 八 一日市場(二九) 九 二木(二九)

一〇 及木(二九) 一一 中萱(二九)

### 付 近世史料

一 長尾組大庄屋甕忠左エ門日記(二九) 1 貞享元年日記(二九)

2 貞享三年一月貞享騒動後百姓へ申渡(二九) 3 貞享

四年齋忠左エ門日記(四三) 二 野沢村務台家庄屋年譜(毛四)

1 年々雑記事(毛四) 2 公私年々雑事記(毛九)

## 第五節 民俗

四〇七

- 一 農事暦(四三) 二 年中行事(四三) (1) 事納め(金三)  
(2) 冬至 (3) 大抜い (4) 暮勘定 (5) 太子講 (6) 松飾り (7) 餅  
つき・お供え (8) 蔡市・お歳暮 (9) 年男 (10) あらみたま・おみた  
ま (11) 年取り・大歳 (12) 初参り (13) 若水・福茶 (14) 元旦の食物  
(15) 元旦の俗信 (16) おんばしら・おんべ (17) 年始 (18) 書初め  
(19) 初荷 (20) 湯殿始め・仕事初め (21) 初夢・三日日の年取り (22)  
六日日の年取り (23) 七草・松送り (24) お八日の餅つき (25) 初市  
(26) 若年 (1) 道具の年取り (2) 若木迎え (3) 物つくり (4) 果  
樹責め (27) 鳥追い (28) 厄落し (29) お賽日 (30) 三九郎 (31) 新  
春の門付芸 (1) 三河万歳 (2) 春駒 (3) 千俵 (4) 越後獅子 (5)  
猿曳 (6) 六部 (32) 山の神 (33) 三峰講 (34) 一二〇日正月 (35) 庚  
申講 (36) 旧年 (37) 伊勢講 (38) 節分 (39) 甘酒祭・八王子祭 (40)  
初午 (41) 甲子講 (42) 八日餅 (43) やしょうま (44) 彼岸 (45) 社  
日 (46) 秋葉様 (47) 嘘ざらい・道普請 (48) 桃の節句 (49) 花祭り  
(50) お不動様 (51) 観音様 (52) 端午の節句 (53) 天王様 (54) 土用  
丑の日 (55) 七夕 (56) お盆 (57) 盆花取り (58) 盆棚 (59) 高灯籠  
送り火・精霊流し (60) 新盆迎え (61) 迎え火 (62) 盆礼 (63) 盆勘定 (64) 盆年 (65) 盆  
市 (66) 中盆 (67) 本盆 (68) お賽日 (69) 盆踊り (70) 棚あげ (71)  
(72) 秋がしき (73) 金山講 三 結婚(四元) 付 婚姻図(四三)

イ 明治初年代(四三) ロ 昭和二四年代(四三) 四 葬式(四毛)

五 伝説(四〇)

1 黒沢小僧(四〇) 2 室山のデーラボツチャ

3 小豆ばばさ 4 さべの泉 5 女しやぐうじ男しやぐうじ 6 加助の墓 7 平福寺の祭 8 いざな使い 9 地ころがし

六 方言(四三) (1) 天地季候(四三) (2) 鳥獸虫魚(四三) (3) 草  
木菌藻(四三) (4) 肢体健康(四三) (5) 服飾容姿(四八) (6) 飲食嗜  
好(四四) (7) 住居坐臥(四九) (8) 老幼男女(四五) (9) 社会交通(四  
五) (10) 生産消費(四五) (11) 行動性情(四五) (12) 事物時所(四五)  
(13) 農山漁村(四五) (14) 俗習信仰(四〇) 七 子供の遊び(四  
〇) 八 民謡(四六) 1 手まりうた(四六) 2 お手玉うた 3 子守うた 4 はねつきうた 5 ジャンケンの歌 6 子供の遊び  
うた 7 酒づくり歌 8 木遣どうつき歌 9 盆踊(四六) イ  
安曇踊 ロ 七日市場区安曇盆唄 ハ 小倉盆唄

## 第六節 民間信仰

四〇八

### 一 庚申信仰(四三) 二 仏像(四三) 三 神祠堂宇(四

三)

### 四 石神石仏等(四三) 付 道祖神(四六) (1) 道祖神の

宝庫(四六)

(2)

道祖神碑の現存数 (3) いつの造立が多いか (4)

双体像の姿態 (5) 碑石の大きさ (6) 碑石の形 (7) 添彫り (8)

道祖神の置かれている場所や向き (9) 雨雪に堪えて (10) 材石は  
どこから運ばれたか (11) 道祖神の祭

## 第七節 民家

四〇九

(1) 村の民家のなりたち(四三) (2) 農家の屋敷構え (3) 主家 (4)

入り口と玄関 (5) 土間 (6) 間取り (7) 流しとかまど (8) 便所  
と風呂場 (9) 土蔵・板倉・文庫倉 (10) 門と堀

## 第三編 現代社会

### 第一章 政治・戸口

第一節 政 治

一 小倉村(研究) 1 沿革のあらまし(四九) 2 村政の経過(五〇)

二 温村(五〇) 1 戸籍法の施行と温村(五〇) 2 町村

の合併(五〇) 3 町村の成立(五〇) 4 明治後半の村政(五〇)

5 大正期の村政(五〇) 6 昭和期前半の村政(五〇)

三 明

盛村(五〇) 1 沿革のあらまし(五〇) 2 村政の経過(五〇)

四 三郷村の成立(五〇) 1 合併の経過の概要(五〇) 2 村名

の由来(五〇)

3 協議決定事項(五〇) 4 新村建設計画(五〇)

5 関係村概況表(五〇)

### 第二節 戸 口

1 戸口の推移(五〇) 小倉村(五〇) 温村(五〇) 明盛村(五〇)

2 戸口に關係する諸事象(五〇) (1) 出寄留と入寄留(五〇) (2)

脱籍・逃亡・失踪・所在不明・不詳等(五〇) (3) 死亡者の平均年齢と乳幼児死亡(五〇)

五〇

### 第四節 鉱 工 業

一 鉱業(五〇) (1) 地下資源の開発(五〇) (2) 試掘願 (3) 創業

(4) その他 二 工業(五〇) 1 工業の發展(五〇) 2 発電

(五〇) 3 酒造(五〇) イ 酒株のこと(五〇) ロ 酒造の取締り

ハ 酒造の銘柄 ニ 戰前戦後の酒造業者 4 製糸業(五〇) イ

糸紡のこと(五〇) ロ 生糸製造業 ハ 組合製糸 5 製材(五〇)

6 その他(五〇) イ 松だけの缶詰 ロ いもちや・かじや ハ し

み豆腐 ニ 曙表 ホ 染色業 ヘ 足袋裏 ト 機織業 チ 竹細

工 リ 下駄 ヌ わら工 ル かわら

五〇

### 第五節 商 業

一 市場(五〇) 明治以降の市場 馬市博覽会の開催 藤糸の市

場 市神 二 商業一般(五〇) 1 販売品(五〇) 2 商業者

3 店 4 歩荷 5 商工団体

五〇

### 第二章 経 済

#### 第一節 総 説

一 農林(六三) 1 明治維新前後(六三) 2 地券 3 村の指導

者 4 農業の發展 5 繁榮と疲弊 6 経済更生 7 本土決戦

8 米かくせ

9 供出 10 日本再建の先兵 二 商工(六七)

六三

#### 第二節 農 業

1 農商の兼業(六七) 2 工業 3 企業整備 4 工業立県

六八

一 技術(六八) 1 農業の進歩(六八) 2 省力化と農具(六八)

五〇

3 多肥農業(六三) 4 病害虫の防除その他(六三) 二 生産物(六四) 1 產物(六四) イ 作物(六四) 一 稲(六四) 二 麦類(六四) 三 雜穀(六四) 四 いも類(六四) 五 野菜類(六四) ロ 果樹(六四) ハ 特用作物その他(六四) 2 畜産(五五) (1) 家畜(五五)

二 (2) 飼料(五五) (3) 家畜の保健衛生その他(五五) 3 蚕業(五五)

四 イ 養蚕業の変遷(五五) ロ 蚕種業(五六)

五〇

#### 第三節 林 業

一 小倉官林(六三) 1 小倉お林のころ(六三) 2 官林の範囲(六三) 3 管理(六三) 4 產物(六三) 5 委託林(六七) 二 共有林(六八) 1 入会(六八) (1) 入会の地域とその管理(六八) (2) 部落有林野の統一 (3) その他の入会 2 北沢山林(六九) 3 黒沢山林(六九) 4 烏川村字野山二十四箇共有山林(七二)

五五

五五

#### 第四節 工 業

1 市場(五九) 明治以降の市場 馬市博覽会の開催 藤糸の市

場 市神 二 商業一般(六〇) 1 販売品(六〇) 2 商業者

3 店 4 歩荷 5 商工団体

五九

## 第六節 金 融

六四

- 一 旧來の金融(六四) 1 質屋(六四) 2 無尽・無尽講 二
- 開產社(六五) (1) 設立の趣旨(六五) (2) 開產社の成立 (3) 事業の概要 (4) 解散 三 銀行(六六) (1) 溫銀行(六六) (2) 明盛銀行 (3) 南安銀行明盛支店 (4) 六十三銀行明盛支店 (5) 八十
- 二 銀行明盛支店 四 その他の金融(六九) 郵便局(六九)
- 第七節 衣 食 住

- 一 衣(六九) 二 食(六九) 1 主食・副食物(六九) 2 米飯
- 三 住(六九) 1 いえ(六九) 2 母屋とくらし 3 付属建物
- 四 生活の改善(六九)

## 第八節 経済関係諸問題

六五

- 一 開拓(六九) 1 官林払下げと開墾(六九) 小倉官林の払下げ  
開墾組合 組合の危機 開墾地の施設 移住者の招致 2 滿州開拓(六九) 滿州開拓義勇軍(六九) 滿州開拓団(南安曇郡) 開拓民の活躍 終戦後の状況 開拓民の送出と援護 開拓団死没者
- 満州開拓義勇軍隊員の体験談(七〇) 3 上の原開拓(七〇) 4 鳴沢開拓と増反地開拓(七〇) 一 小倉開墾地の小作争議(七〇)
- 三 三 農地改革(七〇) 1 沿革(七〇) 2 第一次農地改革(七〇) 3 第二次農地改革(七〇) 4 農地改革の実施と成果(七〇)
- △ 5 農地改革時の農民と功罪(七〇)

## 第九節 経済関係諸団体

六六

- 一 農業協同組合(七〇) イ 村農会(七〇) □ 産業組合の発祥のころ(七〇) ハ 産業組合の成長(七〇) ニ 農業会へ統合(七〇)
- (+) 小倉村農業会(七〇) (+) 温村農業会(七〇) (+) 明盛村農業会(七〇) ホ 農業協同組合の成立(七〇) ヘ 各村農業協同組合(七〇)
- (+) 小倉村農業協同組合(七〇) (+) 温村農業協同組合(七〇) (+) 明盛村農業協同組合(七〇) フ 三組合の比較(七〇) ド その他(七〇) (+) 養蚕組合(七〇) (+) 蚕種同業組合(七〇) (+) 他の組合(七〇)

## 第三章 交通通信

七一

### 第一節 道 路

七二

- 一 明治時代の道路(七三) 1 主な道路(七三) 千国街道(七三) 保高道 西牧道 泉光寺道 御成街道 秀山街道 広街道 小倉市街道 日光寺街道 中塔道 小室道 田多井長尾道 長尾道 松本道 飛驒街道 小倉長尾道 牛街道 中萱市街道 三家街道 田中街道 その他の道路 2 山道(七三) 真々部山道(七三) 長尾前山道(七三) 6 道路調査(七三) 道路元標 7 道路・橋梁の改修整備(七三) 二 大正時代の道路(七三) 1 村道(七三) 2 郡道(七三) 3 県道(七三) 4 道路愛護(七三) 5 橋梁(七三)
- 三 昭和時代の道路(七三) 1 道路・橋梁の改修工事(七三) 2 黒沢川のえん堤工事(七三) 3 交通機関の発達と道路(七三) 山麓線(七三) 5 県道(七三)

### 第二節 交通機関

七三

- 一 諸車(七三) 1 駕籠(七三) 2 人力車(七三) 3 乗合馬車 (七三) 4 荷車・リヤカー(七三) 5 運送車(七三) 6 自転車(七三)

長野県畜産農業協同組合南安曇支部(七三) 四 一日市農業倉庫(七三) (田) 農業協同組合南安加工公社(七三) (ハ) 無限責任小倉協同信用販売購買利用組合(七三) (田) 西中萱農業協同組合(七三) (ハ) 農業共済組合(七三) 一 山林組合(七三) イ 北沢・黒沢(七三) ロ 森林組合(七三) 三 商工会(七三) 四 農業委員会(七三) イ 農地委員会(七三) ニ 農業調整委員会(七三) ハ 農業改良委員会(七三) ニ 農業委員会(七三) 五 官庁(七三) 蚕業取締所豊科支所温出張所(七三) 長野県食糧事務所南安曇支所明盛出張所(七三)

四 7 オートバイ(七五) 8 自動車(七四) 二 バス交通(七五)

1 小倉線(七五) 2 住吉線・中萱回り線(七五)

三 その他の自動車交通(七五) 1 個人営業(タクシー)(七五) 2 南

安タクシー(株)一日市場営業所(七五) 四 本村の交通事情

(七五) 1 小倉線(七五) 2 住吉線・中萱回り線(七五) 三 そ

の他の自動車交通(七五) 1 個人営業(タクシー)(七五) 2 南

安タクシー(株)一日市場営業所(七五) 四 本村の交通事情

### 第三節 鉄道

一 條の井線(七五) 1 創設(七五) イ 招致運動(七五) ロ 開通

2 田沢駅(七五) 3 開通と地域の発展(七五) 二 中央

線(七五) 1 創設(七五) 2 開通とその影響 三 信濃鉄

道(七五) 1 創設(七五) 2 開通(七五) 3 その後の発展(七五)

4 電化(七五) 5 開通と地域の発展 四 一日市場駅(七五)

1 沿革(七五) 2 旅客・貨物輸送の変遷(七五) イ 旅客(七五)

ロ 貨物 3 通運業(七五) 五 中萱駅(七五) 1 沿革(七五)

2 旅客・貨物の変遷 3 通運業 六 国鉄移管(七五) 1

大糸南線(松本～中土)(七五) 2 大糸線(七五)

### 第四節 郵便局

一 郵便制度のはじめ(七五) 二 郵便局(七五) 1 官制

の改革(七五) 2 三等郵便局(七五) 3 特定郵便局 4 簡易郵

便局 三 明盛郵便局(七五) 1 沿革(七五) 2 郵便区の変

遷(七五) 3 業務の取扱(七五) イ 郵便(七五) ロ 為替貯金(七

五) ハ 簡易保険及び郵便年金(七五) 4 電報・電話(七五) イ 電

報(七五) ハ 電信事業 (イ) 料金の変遷 (ア) 電信区・配達区の変

遷 四 業務の取扱 ロ 電話(七五) (ハ) 電話事業 (ア) 加入者の普

及状況 (イ) 業務の取扱 四 小倉郵便局(七五) 1 沿革(七五)

二 2 郵便局の設置運動 3 受持集配局の変遷 4 業務の取

扱 5 電報の請負配達 五 温郵便局(七五) 1 沿革(七五)

2 業務の取扱 六 榆郵便局(七五) 1 沿革(七五) 2 郵

便局の設置 3 業務の取扱

七五

## 第四章 教育・文化

### 第一節 教育

一 寺子屋(学制以前の教育)(七五)

二 小学校(七五)

学制発布と学校教育の発足(七五) イ わが村における小学校設立

(七五) ロ 小学校設立当時の教育(七五) ハ 改正教育令による学

校設立(七五) 2 小学校令期における本村の教育(七五) イ 本

村尋常小学校の教育(七五) ロ 明盛組合高等小学校の創設と教育

(七五) ハ 明治二〇年より明治四〇年にいたる本村六小学校の校

舎建築沿革(七五) ニ 明盛組合高等小学校沿革(七五) 3 義務制

施行以後の就学状況と本村の就学対策(七五) イ 初期のころ(七

五) ロ 就学の督励が強化される(七五) 付授業料(七五) ハ 就学

の督励が一段と厳しくなる(七五) ニ 明治四一年度(義務制延長)

以後の状況(七五) 4 温明尋常高等小学校・小倉尋常小学校の發

足(明治四一～昭八)(七五) ハ 温明盛尋常高等小学校の校舎建築(七

五) (イ) 小倉尋常高等小学校の校舎建築(七五) (ア) 新旧思想の對

立(七五) 四 不況時代と教員(七五) (イ) 職員の研修(七五) 5 皇

國民鍊成と村の教育(昭九～二〇)(七五) 6 戰後新教育の發足

(七五) (1) 昭和二〇年度(七五) (2) 昭和三〇年度(七五)

新制中学校(七五) 1 小倉・温明兩中學校の發足(八〇) 2 瑞

穂中學校への統合(八〇) 3 三鄉中學校の誕生(八三) 四 青

年の教育(八三) イ 女子補修科の発足(八三) ロ 農工補修學校

の設立(八三) ハ 大正期の実業補習學校(八三) ニ 教練主眼の青

年訓練所(八三) ホ 青年学校への統合(八三)

五 社会教育

(八三) 1 公民館以前(八三) 2 公民館の活動(八三) イ 公民館

の誕生(八三) ロ ナトコ映画(八三) ハ 公民館の充実(八三) ニ

七五

### 第二節 文化

八三

1 文学(六三) イ 短歌(六三) ロ 俳句(六四) ハ 雜俳・雜吟(六二)  
セ ニ 漢詩(六三) ホ 書道(六三) 2 美術(六三) イ 村とかか  
わる画家たち(六三) ロ 村内の物故した作家(六三) ハ 温明美術  
会(六三)

### 第三節 教育関係諸団体

イ P.T.A.(六三) ハ 温明学校父母と先生の会(六三) ニ 小倉学

校父母と先生の会(六三) ハ 三郷中学校父母と先生の会(六三)  
ロ 青年団(六三) ハ 青年会のおこり(六三) ハ 若い衆仲間から  
青年会へ(六三) ハ 一木区青年会(六三) 四 小倉・温・明盛青年会  
から三郷村青年団へ(六三) ハ 青年団と図書館(六三) ハ 小倉青  
年図書館(六三) ハ 婦人会(六三) ハ 温明婦人会の創立と活動(六  
四) ハ 温・明盛・小倉国防婦人会(六三) ハ 小倉村婦人会の創  
立と活動(六三)

## 第五章 厚生福祉

八三

1 文学(六三) イ 短歌(六三) ロ 俳句(六四) ハ 雜俳・雜吟(六二)  
セ ニ 漢詩(六三) ホ 書道(六三) 2 美術(六三) イ 村とかか  
わる画家たち(六三) ロ 村内の物故した作家(六三) ハ 温明美術  
会(六三)

## 第六章 治安・国防・消防

一四

### 第一節 警 察

1 警察制度の変遷(六九) 2 駐在所の設置と村民(六九) 3 犯  
罪の推移と傾向(六九)

八九

### 第二節 国 防

1 徵兵と兵役(六三) イ 徵兵制度のなりたち(六三) ロ 徵兵へ  
の認識(六三) ハ 徵兵検査の実施(六三) ニ 徵兵への対応(六三)  
ホ 入隊者の送迎(六三) 2 戰役と出征(六四) イ 戰役の発生と  
犠牲(六四) ロ 出征風景(六四) 付 戰没者名簿(六四) 3 軍事援  
護(六四) イ 軍事援護のなりたち(六三) ロ 銃後の援護活動(六  
四) 4 公職追放と戦後処理(六五) イ 公職追放の実行(六五) ロ  
軍事色の処分(六五) ハ 諸団体の結成(六六) 5 自衛隊(六六)

八三

### 第三節 消 防

八七

1 消防のはじめ(六七) イ 自衛的消防(六七) ロ 村の消防(六七)

2 消防組(六七) イ 消防組設置(六七) ロ 消防組合規約標準(六  
七) ハ 地区消防組の発足(六七) ハ 野沢消防組(六七) ニ 上長  
尾消防組(六七) ハ 一木消防組(六七) 四 小倉消防組(六七) ニ  
金馬れん(六三) ホ その後の消防組活動(六七) 3 警防団(六七)  
イ 警防団設置(六七) ロ 女子警防隊発足(六七) ハ 団員の活動  
状況(六七) 4 消防団(六七) イ 消防団設置(六七) ロ 三郷村消  
防団発足(六七)

1 保健衛生(六九) 1 公衆衛生(六九) イ 伝染病(六九) ハ  
法定伝染病(六九) ハ 届出伝染病(六九) ロ その他の疾病(六九)  
2 環境衛生(六九) イ 飲用水(六九) ロ 清掃(六九) ハ 環境衛  
生関係営業(六九) 3 母子衛生(六九) イ 乳幼児の保健(六九)  
ロ 母性保護(六九) 4 医務(六九) イ 小倉村診療所(六九) ロ  
本村在住の開業医(六九) ハ 助産婦(六九) 5 学童の体位・疾病  
異常(六九) イ 学童の体位(六九) ロ 学童の疾病異常(六九) ハ  
今後の問題(六九) 二 社会福祉(六九) 1 恩賜財团済生会  
(六九) 2 軍人救護(六九) 3 一般救護と職業紹介所(七一) 4  
方面委員制度と民生委員制度(七一) 5 生活保護(七一) 6 児童  
福祉と老人福祉(七一) 三 社会保障(七一) 1 医療保障(七一)  
セ イ 国民健康保険(七一) ロ 健康保険(七一) 2 老後保障(七一)  
セ イ 厚生年金(七一) ロ 国民年金(七一) 3 災害救助(七一)

## 第七章 人物誌

九一

多田加助(六二) 飯沼覚兵衛(九三) 竹内市郎兵衛昭長(九三) 播  
隆(九三) 中村英穎(九四) 松岡平臣(九四) 中田又重郎(九四) 務  
台伴語(九四) 小松鉄嚴(九七) 布山瑞枝(九七) 藤岡甚三郎(九八)  
百瀬謙三(九八) 中沢染江(九九) 百瀬豊三郎(九九) 多田道弥(九

年表

あとがき

- (○) 上鶴貞巖(五〇) 三沢力太郎(五二) 白木鉄平(五二) 森山儀  
文治(五三) 百瀬亥三松(五三) 松岡好一(五三) 塚田豊太郎(五三)  
帶刀近一郎(五三) 白沢保美(五三) 降幡数太郎(五三) 岡村千馬  
太(五六) 一木柄伍(五六) 三村惣平(五六) 野本萱斎(五六) 小松  
脩(五六) 二木保幾(五六)

九三

九四

附圖

# 図版目次

## 口 絵

平福寺聖観世音菩薩

縄文石器硬玉大玉

住吉神社の拝殿

貞享騒動の多田加助屋敷跡に残る池濠

藩政時代の建物として残る郷倉

黒沢川両岸

古い堰の庄野堰や温堰によって開発された地域

## 別図版

別図第一 三郷村の遺跡分布図

別図第二の1 南松原出土の縄文中期の主な土器

別図第二の2 三郷村の代表的土偶・石器・土器

別図第三 三郷村の灌漑用水堰路図

別図第四の1 三郷村の主な仏像

別図第四の2 三郷村の主な道祖神(上)と石仏・石神(下)

別図第五 三郷村の古道と道祖神分布図

三郷村図

# 挿図

## 第一編

- 第一図 三郷村の地形 ..... (三)  
 第二図 飛弾山脈と三郷村付近の河谷と山稜配列図 ..... (四)  
 第三図 三郷村山地の投影断面(東西方向) ..... (四)  
 第四図 三郷村山地の投影断面(南北方向) ..... (四)  
 第五図 黒沢の滝 ..... (四)  
 第六図 粘板岩中にみられる流動連痕のスケッチ ..... (四)  
 第七図 二酸化マンガンの偽化石のスケッチ ..... (四)  
 第八図 断層に沿った酸化鉄マンガン鉱の発掘跡 ..... (四)  
 第九図 飛驒山地東縁の断層線と合成分状地 ..... (二)  
 第一〇図 富士尾山断層・東峰断層投影 ..... (三)  
 第一二図 古期ロームの主要鉱物(室山産) ..... (三)  
 第二図 黒沢川の合成扇状地の模型 ..... (三)  
 第三図 地形学図 ..... (三)  
 第四図 三郷と三地区的月降水量 ..... (三)  
 第五図 三郷村の生物季節 ..... (三)  
 第六図 三郷と三地区的最高気温 ..... (三)  
 第一九図 冬の同じ日時の東西の空模様 ..... (三)

## 第二編

- 第一〇図 松本と他地区的平均気温 ..... (三)  
 第一二図 三郷と三地区的最低気温 ..... (三)  
 第三四図 三郷と他地区的気温較差 ..... (三)  
 第四図 松本と他地区的気温較差 ..... (三)  
 第五六図 三郷と三地区的湿度 ..... (三)  
 第六図 松本高山・静岡の快晴日数 ..... (三)  
 第六図 三郷村の同時観測による風向 ..... (三)  
 第七図 一日の風向変化 ..... (三)  
 第八図 三郷村の主な蝶類 ..... (四)  
 第九図 ムカシントボ ..... (四)  
 第三〇図 河川(黒沢川・鳴沢川)・堰(庄野堰)の蜻蛉目・双翅目の生息分布 ..... (四)  
 第三一図 クワの木(穂刈農氏宅) ..... (四)  
 第三二図 クワの木(宮坂茂雄氏宅) ..... (四)  
 第三三図 イチョウ・クロマツ・カヤの木(北小倉ちんじゅ山) ..... (四)  
 第三四図 アカマツ(南小倉) ..... (四)  
 第三五図 シダレ桜(南小倉大室墓地) ..... (四)  
 第三六図 ノダフジ(松岡治郎左衛門氏宅) ..... (四)  
 第三七図 住吉神社叢林 ..... (四)  
 第一〇図 南松原遺跡第6号住居址 ..... (四)  
 第一二図 南松原遺跡第2号特殊遺構 ..... (四)  
 第三四図 南松原遺跡第2号特殊遺構 ..... (四)  
 第一四図 黒沢川右岸(上)・同左岸(下)出土石礫類 ..... (四)  
 第一五図 村内出土打製石斧・礫器類 ..... (三)  
 第一六図 村内出土磨製石斧 ..... (三)  
 第一七図 村内各地出土凹石・磨石・敲石 ..... (三)  
 第一八図 東小倉遺跡出土硬玉製大珠(1)・硬玉加工品(2) ..... (三)  
 第一九図 村内出土土偶 ..... (三)  
 第二〇図 黒沢川右岸(1~4)當原(5~6)遺跡出土石器 ..... (三)  
 第二図 山ノ越遺跡出土土師器 ..... (三)  
 第三図 堂原遺跡出土土器 ..... (三)  
 第四図 道下遺跡遺構 ..... (三)  
 第五図 足利義持書状 ..... (三)

- (下)住居址 ..... (七)  
 第二図 三郷と三地区的最低気温 ..... (元)  
 第三図 三郷と他地区的気温較差 ..... (三)  
 第六図 南松原遺跡第2号住居址と特殊遺構 ..... (三)  
 第五図 南松原遺跡第1号住居址 ..... (三)  
 第二図 南松原遺跡第3号住居址 ..... (三)  
 第七図 南松原遺跡第4号・6号住居址 ..... (三)  
 第八図 南松原遺跡第5号址(上)と第2号特殊遺構(下) ..... (三)  
 第九図 南松原遺跡第6号住居址 ..... (三)  
 第一〇図 南松原遺跡第6号住居址 ..... (三)  
 第一二図 南松原遺跡第2号特殊遺構 ..... (三)  
 第三四図 南松原遺跡住居址内土器出土状態 ..... (六)  
 第一四図 北小倉出土土器(加曾利E式) ..... (三)  
 第二二図 南松原遺跡住居址内土器出土状態 ..... (六)  
 第三三図 北小倉出土土器(加曾利E式) ..... (三)  
 第一五図 村内出土打製石斧・礫器類 ..... (三)  
 第一六図 村内出土磨製石斧 ..... (三)  
 第一七図 村内各地出土凹石・磨石・敲石 ..... (三)  
 第一八図 東小倉遺跡出土硬玉製大珠(1)・硬玉加工品(2) ..... (三)  
 第一九図 村内出土土偶 ..... (三)  
 第二〇図 黒沢川右岸(1~4)當原(5~6)遺跡出土石器 ..... (三)  
 第二図 山ノ越遺跡出土土師器 ..... (三)  
 第三図 堂原遺跡出土土器 ..... (三)  
 第四図 道下遺跡遺構 ..... (三)  
 第五図 足利義持書状 ..... (三)

第二六図 教言卿記 ..... (二〇)

第五六図 熊野神社本殿 ..... (二〇)

第八二図 下長尾二木地名 ..... (三三)

第八三図 榆・住吉地名 ..... (三八)

第八四図 七日市場・一日市場地名 ..... (三三)

八

第一七図 中萱六日市場 ..... (一三)

第五七図 諏訪神社本殿 ..... (一〇)

第八二図 下長尾二木地名 ..... (三三)

第八三図 榆・住吉地名 ..... (三八)

九

第一八図 内堀屋敷付近 ..... (一四)

第五八図 三柱神社 ..... (一〇)

第八三図 一日市場・二木地名 ..... (三三)

第八四図 及木・中萱地名 ..... (三三)

一〇

第二九図 武田信玄家臣某寄進状 ..... (一七)

第五九図 伍社宮 ..... (一〇)

第八五図 一日市場・二木地名 ..... (三三)

第八六図 及木・中萱地名 ..... (三三)

一一

第三〇図 小笠原秀政寄進状 ..... (一七)

第六〇図 津島社拝殿 ..... (一〇)

第八七図 薬加工品 ..... (四〇)

一一

第三一図 平福寺元屋敷 ..... (一九)

第六一図 八幡社 ..... (一〇)

第八八図 氷餅 ..... (四〇)

一二

第三二図 平福寺脇仏 ..... (一九)

第六二図 小倉諏訪神社本殿 ..... (一〇)

第八九図 麦ふみ ..... (四〇)

一二

第三三図 長徳寺の仏像 ..... (一三)

第六三図 白山神社 ..... (一〇)

九

第三四図 上総屋敷図 ..... (一毛)

第六四図 檢地帳(水帳)表紙と内容 ..... (一〇)

一〇

第三五図 上総基地四周を囲む石塁 ..... (一毛)

第六五図 免状 ..... (一〇)

一一

第三六図 長尾城跡遠望 ..... (一毛)

第六六図 のべ 村別田畠石盛の状況 ..... (三三)

一二

第三七図 長尾城跡 ..... (一毛)

第六七図 上・中・下・下々田畠の各村の分 布状況 ..... (三三)

一二

第三八図 二木農後屋敷跡 ..... (一毛)

第六八図 中萱村九郎治分譲り証文絵図 ..... (一五)

一二

第三九図 草間肥前屋敷跡絵図 ..... (一毛)

第六九図 下ヶ札(龜佐五兵衛) ..... (一五)

一二

第四〇図 二木出土の古錢 ..... (一毛)

第七〇図 眚畔の変北 ..... (一毛)

一二

第四一図 小笠原貞政書状 ..... (一毛)

第七一図 鷹巣見役免許証 ..... (一毛)

一二

第四三図 小倉城跡 ..... (一毛)

第七二図 播隆上人六字銘(平福寺) ..... (一毛)

一二

第四四図 小倉城跡遠景 ..... (一毛)

第七三図 飯沼寛兵衛記念碑 ..... (一毛)

一二

第四五図 及木館跡 ..... (一毛)

第七四図 多田加助屋敷図 ..... (一毛)

一二

第四六図 内堀屋敷 ..... (一毛)

第七五図 三郷村の耕土・表土分布 ..... (一毛)

一二

第四七図 野沢庄村屋日記御用書留帳 ..... (一毛)

第七六図 黒沢の自然流断面(下長尾六反田) ..... (一毛)

一二

第四八図 天明二年長尾村宗門帳 ..... (一七)

第七七図 二木の条里的遺構と地蔵堂地籍 の水利権を示す ..... (一毛)

一二

第五〇図 多田加助の墓 ..... (一九)

第七八図 天保二三年温壤取入口付近川際の 絵図 ..... (三〇)

一二

第五一図 長徳寺制札 ..... (一九)

第七九図 北小倉地名 ..... (三〇)

一二

第五二図 真光寺本堂 ..... (一四)

第八〇図 南小倉地名 ..... (三〇)

一二

第五三図 浄心寺 ..... (一七)

第八一図 野沢・上長尾地名 ..... (三八)

一二

第五四図 瑞光寺 ..... (一九)

第八二図 住吉神社本殿 ..... (二〇)

一二

第三図	かかしあげ	(四八)
第二三図	宮まいり	(四六)
第二四図	ゑびす様	(四六)
第二五図	野辺送り	(四六)
第二六図	安曇盆唄	(四六)
第二七図	盆踊唄(小倉準正調)	(四六)
第二八図	盆踊唄(小倉俗調)	(四六)
第二九図	おんばしら(北小倉)	(四六)
第三〇図	おんばしら(一日市場)	(四六)
第三一図	加科晏正氏旧宅	(四六)
第三二図	二木節郎氏宅	(四六)
第三三図	草屋根の旧家(榆)	(四六)
第三四図	本棟づくり	(四六)
第三五図	民家の復原平面図	(四六)
第三六図	板倉	(四六)
第三七図	おんばしら(一日市場)	(四六)

### 第三編

第一図	小倉小学校改築につき土工施行 の鎮守山	(五四)
第二図	小倉小学校旧校舎(昭和八年)	(五四)
第三図	小倉村長の印	(五四)
第四図	榎村宗門改帳	(五四)
第五図	温村役場(昭和六年)	(五三)
第六図	河川改修工事(昭和七年)	(五三)
第七図	温村長印	(五三)
第八図	明盛村役場	(五三)
第九図	明盛村戸長・村長の印	(五〇)
第一〇図	合併調印式	(五〇)
第一一図	村章	(五〇)
第一二図	物納から金納へ	(五〇)
第一三図	あづみ産蚕卵紙	(六三)
第一四図	温・明盛村の稻作面積と収量の推移	(六三)
第一五図	りんご園	(六三)
第一六図	三村関係収穫量の変化	(六三)
第一七図	蚕種家の看板	(六三)
第一八図	小倉官林の区分	(六三)
第一九図	北沢山林	(六三)
第二〇図	黒沢山林	(六三)
第二一図	酒造鑑札	(六三)
第二二図	北小倉産の松だけかんづめのレ ヅテル	(六三)
第二三図	明盛銀行の預金通帳	(六八)
第二四図	八十二銀行明盛支店	(六九)
第二五図	室山から見た小倉官林	(五六)
第二六図	開墾地貢線道路の完成	(五六)
第二七図	農林省から借り入れたトラクター その他	(五六)
第二八図	開墾地の作目	(五六)
第二九図	農地開放前後の温村内一部の土 地所有の変化	(五六)
第三〇図	小倉農協購買事業	(三二)
第三一図	明盛村農協財産目録	(三三)
第三二図	水稻・麦の地域別支払共済金	(三三)
第三三図	小倉村の道路元標	(七八)
第三四図	駕籠	(七三)
第三五図	乗合自動車運転路線図	(七三)
第三六図	松本農科間開通式当日の一市 場駅	(五五)
第三七図	昭和二七年一日市場駅月別・方 面別乗客の推移	(五五)

第三八図	中萱駅	(七四)
第三九図	明治三八年新築の明盛郵便局	(七四)
第四〇図	増田弥次エ門の色紙	(七四)
第四一図	日比野允敬筆塚	(七四)
第四二図	小穴佐門太の碑	(七四)
第四三図	中野宇蔵の碑	(七四)
第四四図	野沢郷倉跡	(七四)
第四五図	長尾協成学校卒業証書	(七四)
第四六図	明治八年九月協成学校新校舎	(七四)
第四七図	一日市学校卒業証書	(七四)
第四八図	明盛組合高等小学校平面図	(七四)
第四九図	旧温明小学校	(七四)
第五〇図	学齢児童の就学率の推移	(七四)
五一図	温明盛校校舎	(七四)
五二図	小倉小学校平面図	(七四)
五三図	戦地の三郷出身者に送った学校 だより	(七五)
五四図	疎開児童(東京都世田谷区太子 堂小学校児童)	(七五)
五五図	温明青年学校生徒	(七五)
五六図	青年学校生徒の勤労奉仕	(七五)
五七図	神風講社ができる民衆の教化に 努めた	(七五)
五八図	松岡平臣の筆蹟	(八三)
五九図	奉獻俳句前句付額(平福寺)	(八三)
六〇図	俳句のよせがき	(八三)
六一図	西川雪峰の碑(一口付)	(八三)
六二図	寺子屋師匠の手本	(八三)
六三図	相馬古処の書	(八三)
六四図	野本壹斎筆	(八三)

## 第六五図

明治六〇年記念展覧会寄書 ..... (三三)

## 第六六図

国防婦人会の戰勝祈願 ..... (三三)

## 第六七図

病院治療規則の一部 ..... (三三)

## 第六八図

小倉村診療所 ..... (三三)

## 第六九図

中村医師のカルテ(明治二八年) ..... (三三)

## 第七〇図

児童生徒の身長(男子) ..... (三三)

## 第七一図

児童生徒の身長(女子) ..... (三三)

## 第七二図

御巡邏日誌(明一一) ..... (三三)

## 第七三図

大正八年頃の巡査 ..... (三三)

## 第七四図

犯人名簿(明治一〇年) ..... (三三)

## 第七五図

所属師管の変せん ..... (三三)

## 第七六図

千人針 ..... (三三)

## 第七七図

三郷村出身者自衛隊入隊状況 ..... (三三)

## 第七八図

竜吐水 ..... (三三)

## 第七九図

馬れん ..... (三三)

## 第八〇図

多田加助 ..... (三三)

## 第八一図

飯沼覚兵衛の検地請願書 ..... (三三)

## 第八二図

竹内市郎兵衛の嘆願書 ..... (三三)

## 第八三図

播隆 ..... (三三)

## 第八四図

中村英碩 ..... (三三)

## 第八五図

松岡平臣 ..... (三三)

## 第八六図

中田又重郎 ..... (三三)

## 第八七図

務台伴語 ..... (三三)

## 第八八図

小松鉄巖 ..... (三三)

## 第八九図

布山瑞枝 ..... (三三)

## 第九〇図

百瀬謙三 ..... (三三)

## 第九一図

多田道弥 ..... (三三)

## 第九二図

上嶋貞嚴 ..... (三三)

## 第九三図

三沢力太郎 ..... (三三)

## 第九五図

白木鉄平 ..... (三三)

## 第九六図

森山儀文治 ..... (三三)

## 第九七図

百瀬亥三松 ..... (三三)

## 第九八図

松岡好一 ..... (三三)

## 第九九図

塚田豊太郎 ..... (三三)

## 第三〇図

帶刀近二郎 ..... (三三)

## 第三一図

白沢保美 ..... (三三)

## 第三二図

降幡數太郎 ..... (三三)

## 第三三図

岡村千馬太 ..... (三三)

## 第三四図

二木柄伍 ..... (三三)

## 第三五図

三村惣平 ..... (三三)

## 第三六図

野本宣斎 ..... (三三)

## 第三七図

小松 倖 ..... (三三)

## 第三八図

二木保幾 ..... (三三)

## 第三九図

三木保幾 ..... (三三)